

## 令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立東三国小学校学校協議会

## 1 総括についての評価

中期目標について、いくつかの項目では数値目標を達成できなかったが、数値では測れないところで学校は子供のために十分に活動できていると思う。「地域の人材や施設などを活用した学習に取り組んでいる」については、アンケートや周知の工夫でより積極的にアピールしていくとよいのではないかと。子ども達が地域の子であることを意識して成長できるよう引き続き地域の力を積極的に活用してほしい。

## 2 年度目標ごとの評価

## 年度目標：【安全・安心な教育の推進】

## 学校の年度目標

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を88%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- ・教育活動アンケート（保護者アンケート）における「学校は命や人権を尊重する態度を育てる取り組みを行っている」において、もっとも肯定的な回答の割合を45%以上にする。
- ・教育活動アンケート（児童アンケート）における「たてわり班で、みんなと協力して活動している」において、もっとも肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。

- ・いじめに関する質問について、最も肯定的な回答をする児童が多いのはよかった。（3年：84.5%、4年：92.2%、5年：95.3%、6年：100%）各学年でいじめに関する学習を継続して取り組んでほしい。
- ・「学校に行くのは楽しいと思いますか」については、低学年も含める教育活動アンケート（児童アンケート）をみると、肯定的な回答が88.7%で目標値を上回っているのがよかった。大阪市学力経年調査でも上回るとよい。

## 年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

## 学校園の年度目標

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、もっとも肯定的に回答する児童の割合を54%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、もっとも肯定的に回答する児童の割合を71%以上にする。

- ・学力経年調査の結果は、全学年で大阪市平均正答率を上回り、対全国比でどの学年も前年度より平均正答率が上がっていて喜ばしい。
- ・体力・運動能力等調査では体力合計点が男女ともに全国平均を上回ったが、運動やスポーツが好きと答える児童の割合が、女子については大阪市、全国平均を下回っていたところは、児童の意識が向上するように取り組みを続けてほしい。

年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の78%以上にする。
- ・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を87%以上にする。
- ・教育活動アンケート（児童アンケート）における「週に1回以上、本に慣れ親しんでいる」において、もっとも肯定的に回答する児童の割合を72%以上にする。
- ・教育活動アンケート（児童アンケート）における「地域の人と一緒に、学習活動に取り組んでいる」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- ・「本に慣れ親しむ」というアンケートの文言がわかりにくかったのではないかな。
- ・生涯学習から、出前授業の講師を派遣できたら、地域との連携が進むのではないかな。

### 3 今後の学校園の運営についての意見

- ・子ども達が地域の子であることを意識して生活できるよう、引き続き地域の力を積極的に活用してほしい。
- ・子ども達が活動する姿、取り組みの様子や成果を、保護者、地域の方々へ、さらに工夫して発信してほしい。